

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	市民文化祭事業			
担当部署・課長名	社会教育 課	生涯学習 係	課長名	高田匡章

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 4
【施策名】 市民文化の振興	総合計画書 (ページ)	41

予算名	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 1 社会教育総務費	事業 6 市民文化祭事業費
-----	----------	-----------	-------------	---------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 東大和市民	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内在住者
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市民文化の普及と向上を図り、市民相互の交流を促進したい。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 出展者・出演者及び参加者と観客数
	③ そのために何をしましたか。 中央公民館・ハミングホール・奈良橋市民センターを使用し、29団体が日頃からの成果を展示及び発表した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 10月13日から22日間

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	86,044	85,857	85,534	
	成果指標	②の数値	人	12,466	11,202	12,497	
	目 標	②の目標値				11,202	
		目標値設定の考え方	市民文化祭の出展者・出演者及び観客数				
活動指標	③の数値	日	27	21	22		

3 経費	事業費(実績)		円	2,713,000	2,339,303	2,249,013	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	2,713,000	2,339,303	1,131,013	
		特定財源	円			1,118,000	
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	50.0	50.0	50.0	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	215,000	210,000	210,000		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0		
事業費+人件費		円	2,928,000	2,549,303	2,459,013		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和46年11月に広く市民の間に文化芸術を進行し、その普及・発展を図る目的で開始。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
	開始当初は、学校体育館で3日間の開催であったが、参加団体の増加とともに開催日数も増加した。

仕 事 の 内 容	市民文化祭事業			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田匡章

5 市民等の意見
 この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
 全体としては実行委員、参加者からは良かったとの意見をいただいているが、施設（中央公民館）の整備やPRの向上を求められている。
 また各参加団体内の高齢化が進み、準備時などの負担が大きいとの意見が増えている。
 また文化祭を通して、団体への入会・活動参加等につながらないため、事業の先細りが懸念されている。

6 市民協働
 (1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）

取り組んだ	取組手法	①共済（市・教育委員会・文化協会）、②実行委員会
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

 (2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点
 今後も文化祭が続いていくためには、各参加団体が継続していける形で変化していくべきだと思う。

7 課題
 (1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容
 ①良好な展示スペースの確保
 ②市民文化祭観覧のPR、観覧者を増やすための工夫
 (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
 ①設営時に展示用ライトを業者から借用した。
 ②のぼり旗を作製し、文化祭が実施されていることをアピールした。
 ツイッター、フェイスブックに開催期間中の状況を数回投稿した。
 (3)(2)を踏まえた今後の課題
 市民文化祭の更なるアピール、観覧だけでなく参加してみたいと思わせる工夫を行う。

8 今後の方向性
 (1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）
 ポスターの掲示場所を増やす、各実行委員に掲示、団体内、知り合いへのチラシ配布を依頼する。
 市ホームページ、市報、庁内職員に文化祭開催のアピールを行う。
 昨年度提案を行ったが頓挫した「スタンプラリー事業案」について再度調整を行う。
 (2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
 スタンプラリー事業については、景品をどのように調達するのか、またその資金について調整が必要となる。
 (3)改革・改善案による期待成果
 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。

成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。
----	----------	----	-------------